



栃木県の経済情勢報告

令和6年11月7日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）6年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	横ばいの状況にある	↔
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	6年度は増加見込みとなっている	6年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	6年度は増益見込みとなっている	6年度は減益見込みとなっている	↘
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

コンビニエンスストア販売額等は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額やドラッグストア販売額は前年を上回っている。乗用車新車登録届出数は前年を上回っている。また、宿泊や飲食サービスについては持ち直している。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 残暑の影響で秋物衣料の出足が鈍いものの、ラグジュアリー商品等の高額商品は好調。(百貨店)
- 価格転嫁の進展により客単価が上昇しており、売上高も前年並みを確保。なお、物価高の影響で「必要なものだけを買う」という傾向は継続。(スーパー)
- 酷暑や台風等の影響により客足が鈍ったほか、物価高の影響で生活防衛意識が高まり、安価な商品の需要が高まっている。(コンビニ)
- 昨年度実施された「第2弾栃木省エネ家電購入応援キャンペーン」の反動により冷蔵庫や洗濯機といった大型家電商品の売行きが落ち着いている。(家電量販店)
- 猛暑の影響で日焼け止め、殺虫剤等の需要が増加したほか、災害特需と供給不足により米の需要が増加した。(ドラッグストア)
- モデルチェンジによる新車販売単価の上昇、高価格帯の商品の販売好調により増収。(自動車販売)
- 夏休みによる来店客数の増加、9月の曜日並び、賃金引上げによる外食機会の増加等により増収。(飲食)
- 価格転嫁が進み売上高、客単価は増加。また、国内の旅行者が増加しており、円安の影響で海外旅行を断念し、国内旅行に切り替えた層が一定数いたと考えられる。(宿泊)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、化学が上昇している一方、生産用機械や金属製品等が低下しているなど、横ばいの状況にある。

- 外出機会が増加したことや訪日外国人が増加したことで、化粧品の国内向けの売上高が増加。(化学)
- ロシアによるウクライナ侵攻以降、国内外全体で需要が減少しており、減産傾向となっている。(生産用機械)
- 完成車メーカーの生産停止等の影響が一部で続いており、生産量が減少している。(金属製品)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 募集をかけても人が集まらない状態であり、生産量の増加があった場合は所定外労働で対応せざるを得ない。(製造業)
- 人手不足が常態化しており、DXの推進やスキマバイトサービスを使って対応している。(娯楽)
- 中途採用の拡充、外国人の採用、職種に応じた賃金設定等によって人手不足に対応している。(小売業)

■ 設備投資 「6年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年7~9月期

- 6年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比32.6%の増加見込み、非製造業では同52.0%の増加見込みとなっており、全産業では同38.2%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「6年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年7~9月期

- 6年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比6.3%の減益見込み、非製造業では同3.0%の増益見込みとなっており、全体では同3.7%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年7~9月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、6年10~12月期は「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を上回っており、持家、分譲住宅は前年を下回っている。全体としては前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、国及び県は前年を上回り、市町は前年を下回っている。全体としては前年を上回っている。

■ 企業倒産 「倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている」



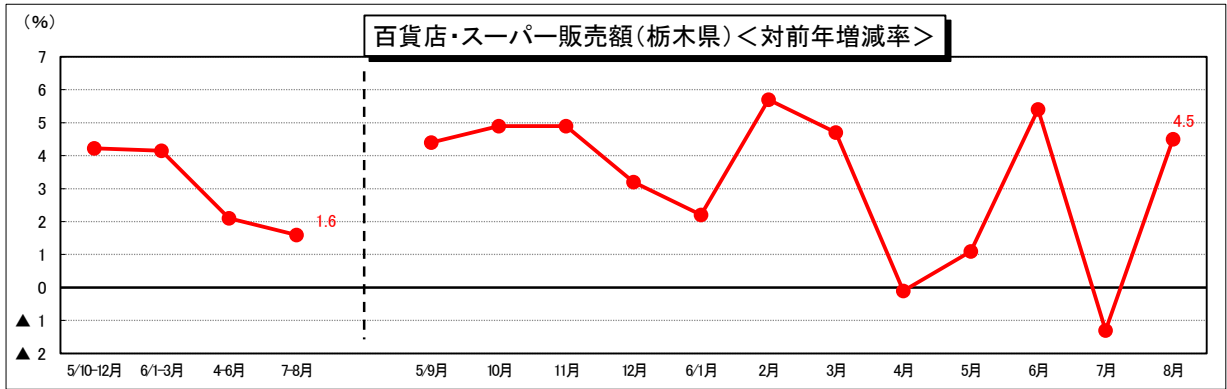
栃木県の経済情勢報告

資料編

1. 個人消費

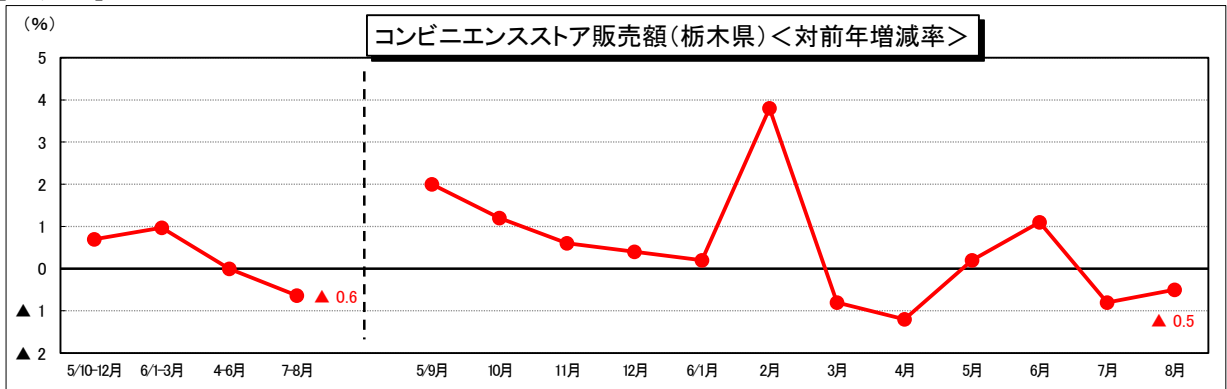
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



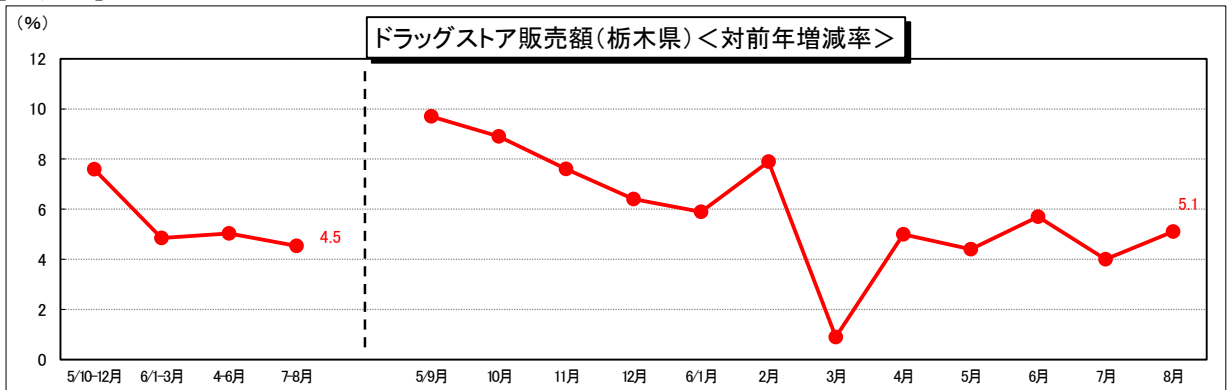
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



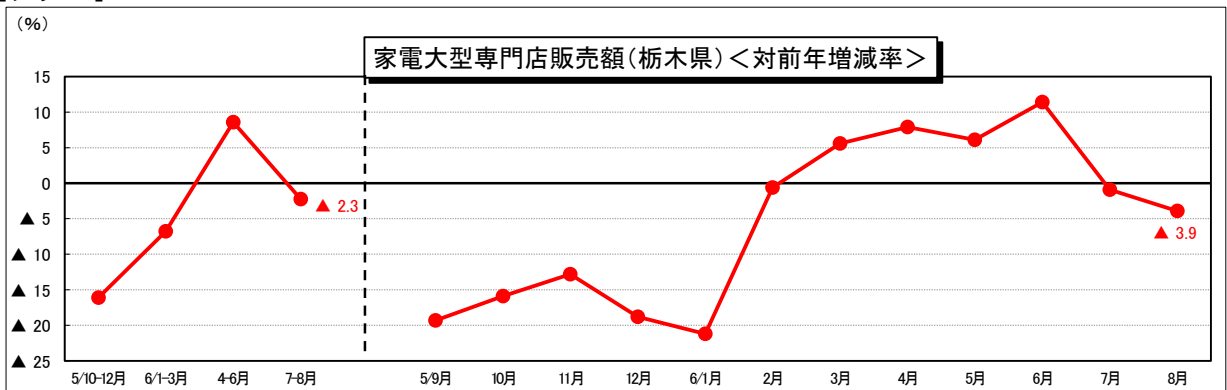
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



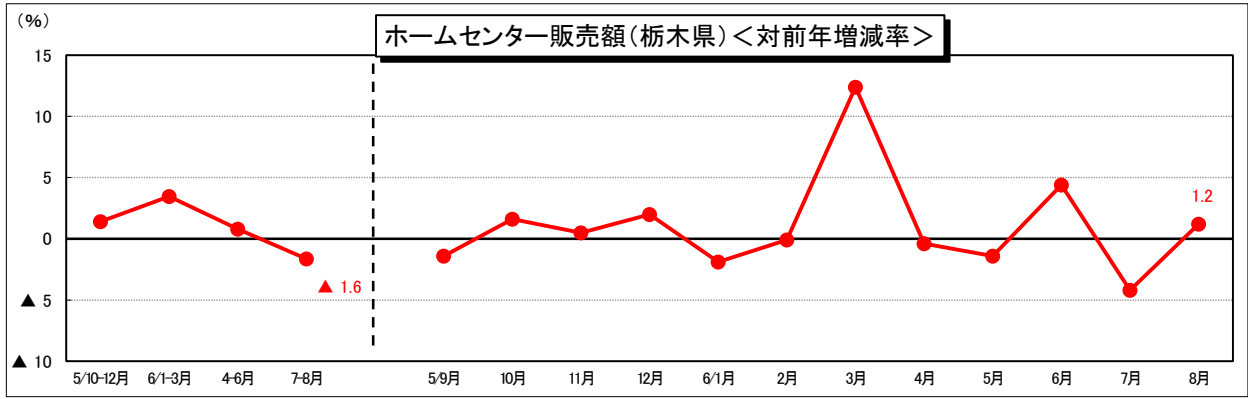
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]



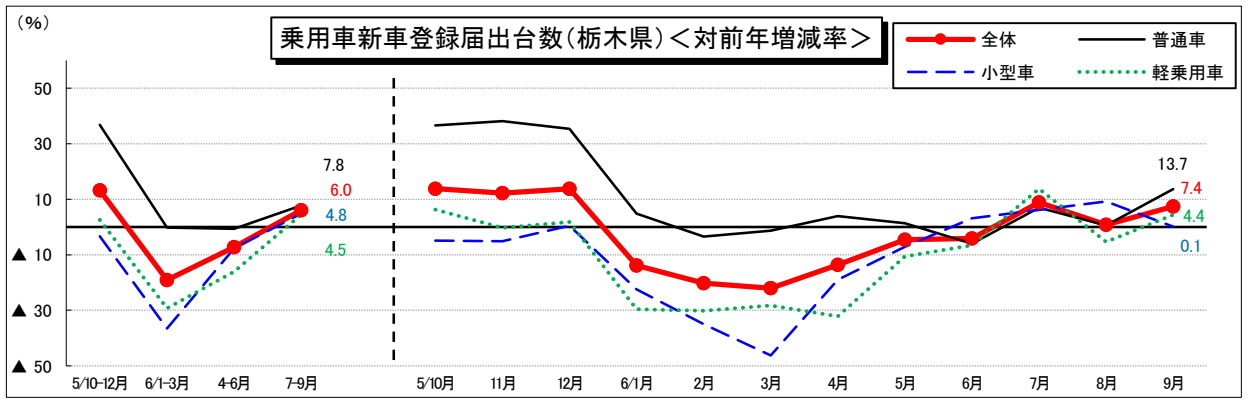
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ6]

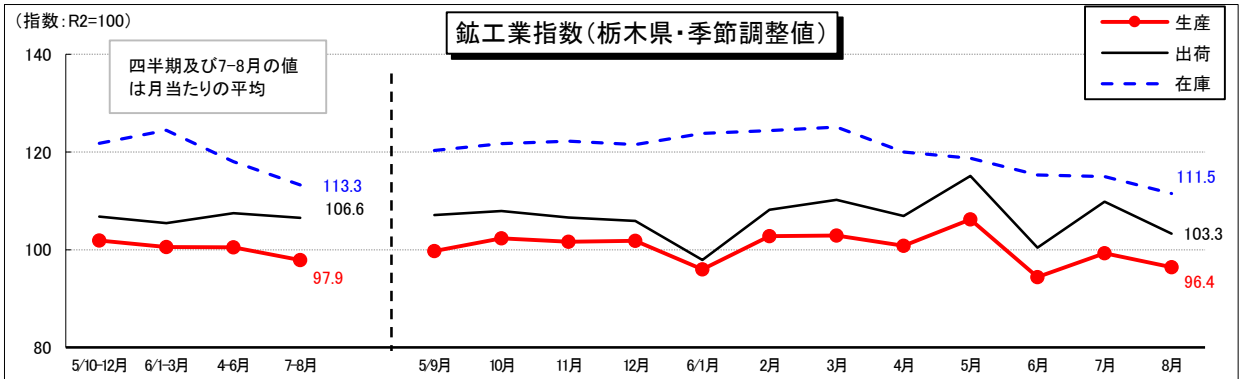


出典：「新車登録台数」((一社)日本自動車販売協会連合会)を加工、「軽四輪車県別新車販売台数」((一社)全国軽自動車協会連合会)を加工

2. 生産活動

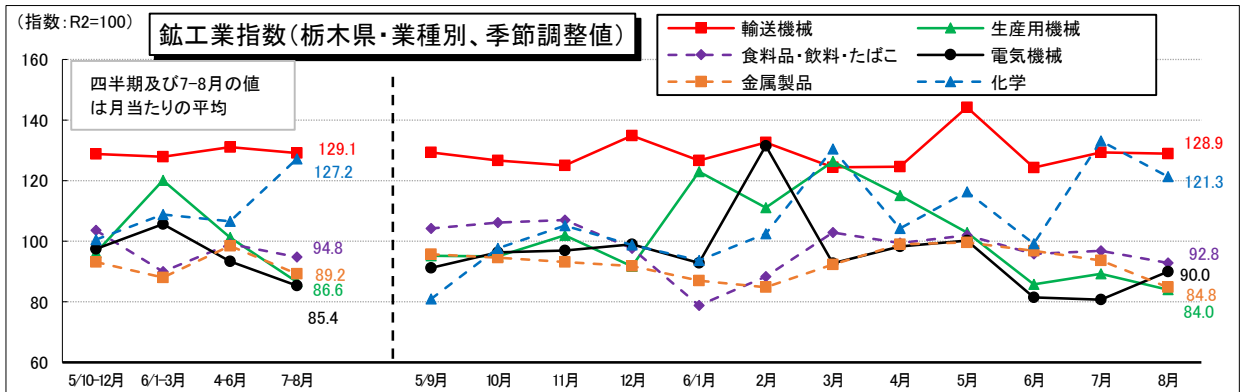
横ばいの状況にある

[グラフ7]



出典：「栃木県鉱工業指数」(栃木県)を加工

[グラフ8]

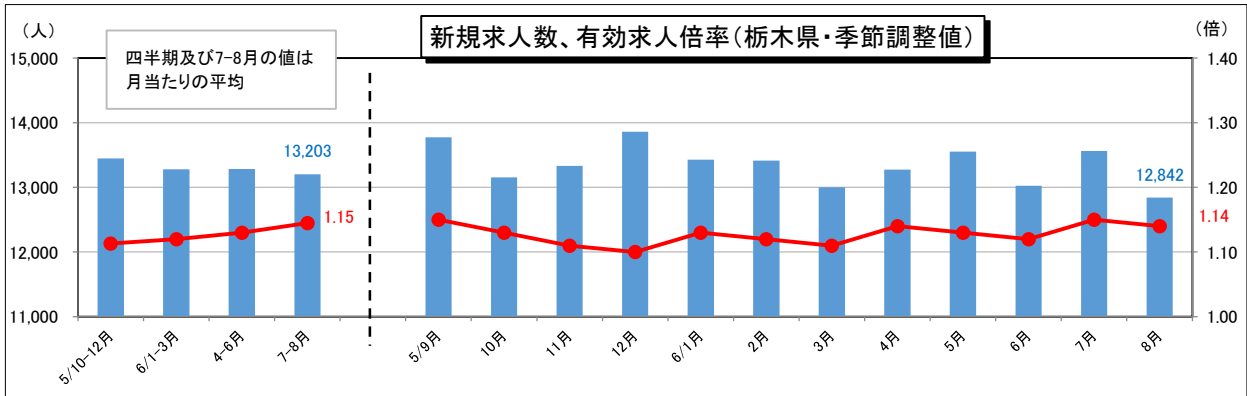


出典：「栃木県鉱工業指数」(栃木県)を加工

3. 雇用情勢

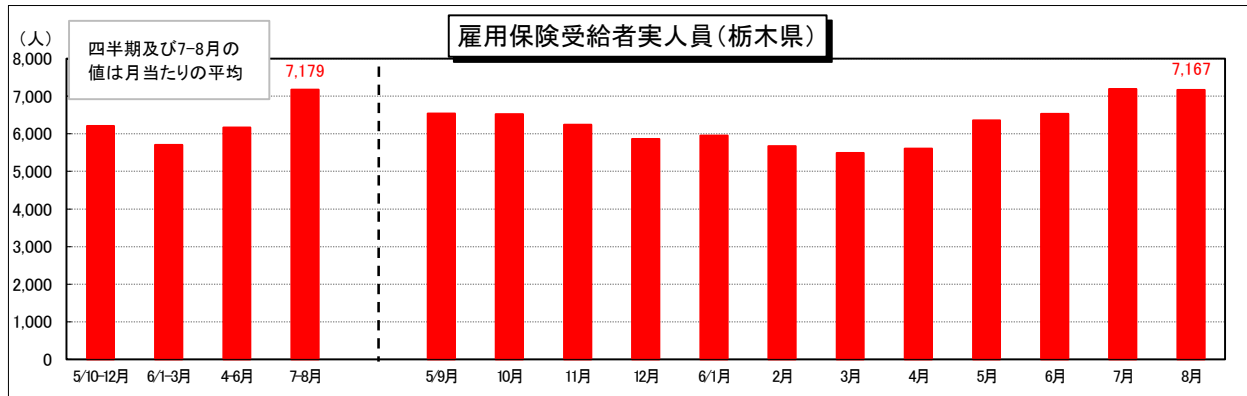
緩やかに持ち直している

[グラフ9]



出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規学卒者を除きパートタイムを含む

[グラフ10]

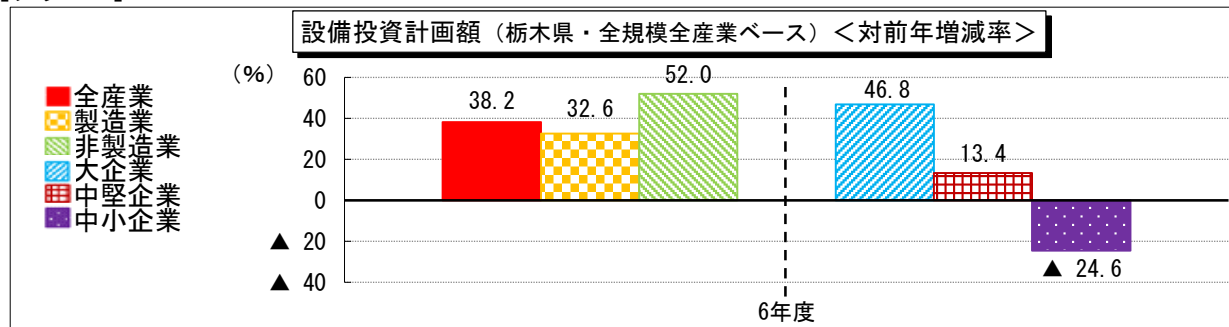


出典：「労働市場のようす」(栃木労働局)を加工

4. 設備投資

6年度は増加見込みとなっている

[グラフ11]

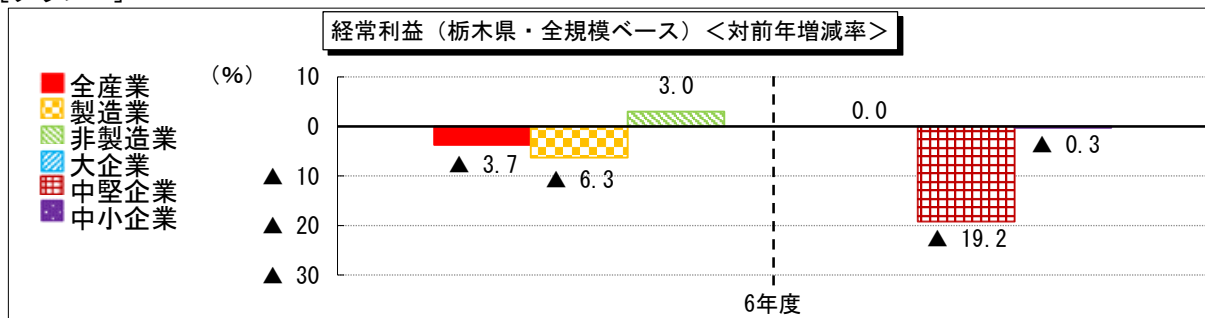


出典：「法人企業景気予測調査(令和6年7~9月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

5. 企業収益

6年度は減益見込みとなっている

[グラフ12]

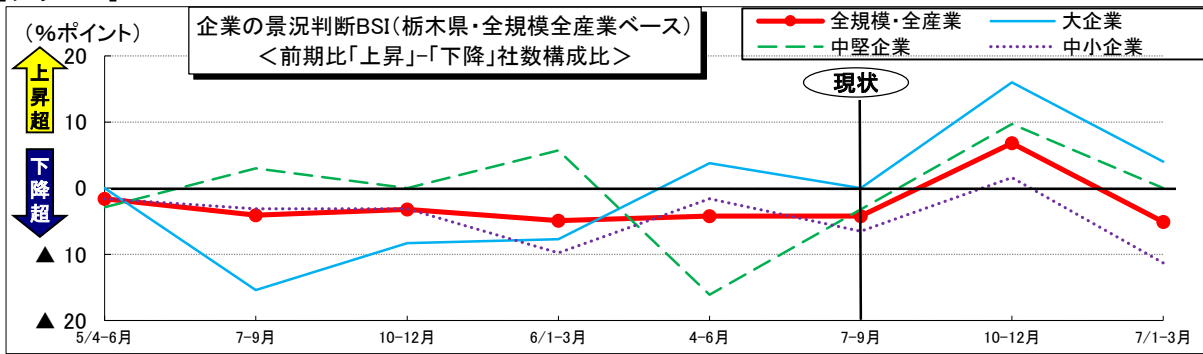


出典：「法人企業景気予測調査(令和6年7~9月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

6. 企業の景況感

「下降」超となっている

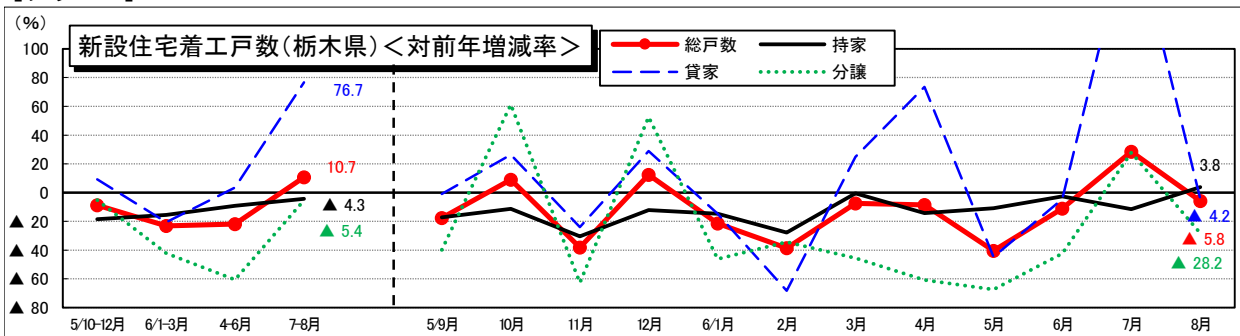
[グラフ13]



7. 住宅建設

前年を上回っている

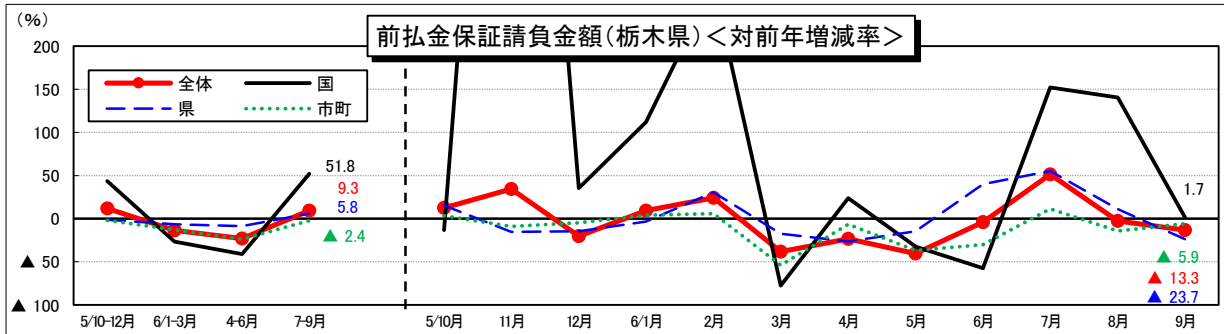
[グラフ14]



8. 公共事業

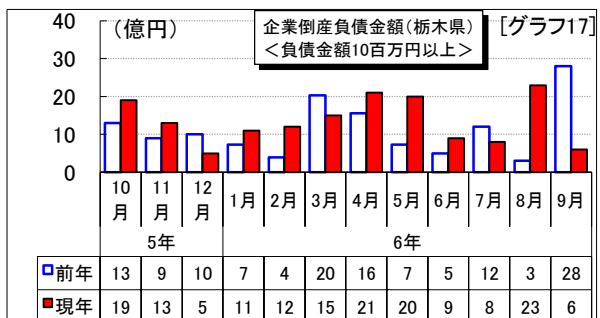
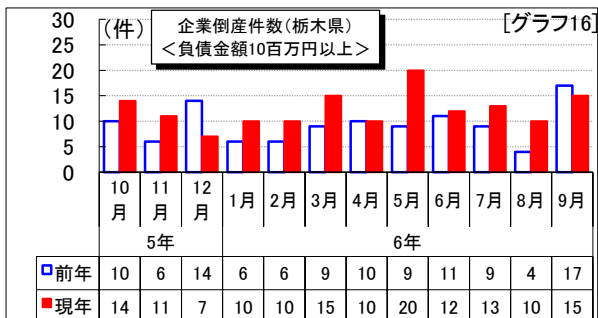
前年を上回っている

[グラフ15]



9. 企業倒産

倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工